オプトアウト文書	**単機関研究用**
臨床研究承認番号	**2-023446-00**

作成日：　2024年2月5日（第1版）

手稲渓仁会病院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

1.研究課題名

急性期脳主幹動脈閉塞に対する血栓回収療法における血栓吸引カテーテルとバルーンガイディングカテーテルを同軸で頚動脈へ誘導するtriple coaxial techniqueの有用性

2.研究の目的

急性期脳主幹動脈閉塞に対する血栓回収療法の有効性が示され、転帰が良好となる要因として発症から再開通までの時間の短縮の重要性が指摘されています。血栓回収療法において鼠径部の穿刺から閉塞血管の再開通までの手技時間短縮を目指すには、血栓吸引カテーテルを速やかに血管閉塞部まで誘導する必要があります。当院にて血栓吸引カテーテルを頚動脈まで効率よく誘導するtriple coaxial techniqueを考案し導入したため、その有効性を評価することが目的となります。

3.対象となる方

2017年4月～2023年12月に当院で内頚動脈から中大脳動脈M1までの急性期脳主幹動脈閉塞に対し血栓回収療法（カテーテル治療）を受けられた方

4.研究に用いる試料・情報の種類

情報：
1)鼠径部穿刺から頚動脈までのガイディングカテーテルの誘導方法、使用したカテーテルの種類
2)鼠径部穿刺から頚動脈までのガイディングカテーテルの誘導時間
3)triple coaxial techniqueによる誘導の成功の有無
4)MRI、CT、血管撮影画像に基づく大動脈弓分岐のtype

5.試料・情報の利用方法

上記項目を、手稲渓仁会病院脳神経外科に集約して解析を行います。いずれも、診療の中で得られたものであり、この研究のために患者さんに新たな検査を行ったり、経済的負担をかけたりすることはありません。

6.研究期間

実施許可日～2024年9月30　日

7.個人情報の取り扱い

本研究で利用する情報等からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、学会や雑誌等で研究成果が発表されます。取り扱う情報等は、研究責任者が責任を持って厳密に管理します。

8.お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

オプトアウト文書	**単機関研究用**
臨床研究承認番号	**2-023446-00**

　また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
手稲渓仁会病院　脳神経外科　　担当医師　内田和希
〒006-8555　札幌市手稲区前田1条12丁目1-40
TEL：011-681-8111（代表）　FAX：011-685-2998

研究責任者：手稲渓仁会病院　脳神経外科　内田和希